

疾病管理

鳥獣管理

- ・全ての窓に鳥の侵入を防ぐネットを設置
- ・通風や給餌エリアへの鳥の侵入を防ぐ

ネズミ対策

- ・施設の外周にバイトステーションを設置
- ・新鮮な毒餌を定期的に確認する



飼い犬や飼い猫などの家畜動物

- ・施設への立ち入りは禁止

周囲の環境

- ・整頓整頓されており、資材や飼料のこぼれがない
- ・周囲に雑草等の植物が茂っていない
- ・設備等に穴が空いていない（侵入経路の都地）
- ・水溜まりを避ける

重要な7つのポイント

屋外の管理

By Heloiza Intes, Regional Veterinary Manager LATAM

養豚場のバイオセキュリティにおいて、害虫・害獣の駆除は非常に重要です。蚊、ハエ、鳥類、昆虫、さらにはペットも豚の飼料を食べますし、建物にダメージを与え、病気を広げる原因になります。豚の健康を守るためにも、効果的な駆除や防除は非常に重要です。

1. 清潔な環境を維持する
2. 侵入経路を塞ぐ
3. 飼料の管理
4. 罠と毒餌の使用
5. モニタリング
6. 植物の管理
7. 事故率の低下

ヒント1

清潔な環境を維持する

定期的に零れた飼料や不用なものを掃除して害虫や害獣の隠れ家を無くしましょう。

また、廃棄物等も適切に管理と処理を行い、害獣などを引き寄せないようにすることが重要です。

ヒント2

侵入経路を塞ぐ

害獣・害虫の侵入を防ぐために、ネットで畜舎を覆うだけではなく建物に隙間やヒビがあればコーキング剤などを使用して侵入経路になりえるものは全て塞ぎましょう。

また、害獣対策用のネットは良好な状態を維持するために、定期的に穴や損傷がないかを確認してください。

ヒント3

飼料の管理

害獣の侵入を防ぐために、害獣が飼料に接触できないような容器にしましょう。

また、汚染のリスクを減らすために飼料は地面に直接置かず、離して保管をしてください。

ヒント4

罠と毒餌の使用

害虫や害獣を捕らえるために戦略的に罠や餌を配置しましょう。

粘着シートやネズミ捕り器、毒餌など、さまざまなタイプのトラップを使用することで異なる害獣や害虫に対処することが大切です。

また、害虫、害獣駆除の専門業者に依頼することも検討し、効率的な駆除も必要です。

ヒント5

モニタリング

害獣や害虫の形跡がないかを確認するために定期的に農場を点検しましょう。
モニタリングを行い、形跡を見つけたら速やかに対処してください。

ヒント6

植物の管理

植物が群生していると害獣の隠れ家になってしまうので、除草剤の使用や定期的な草刈りなどをして生息場所を無くしましょう。
また、ゴミが落ちているとそれも隠れ家になってしまう可能性があります。農場内にゴミが落ちていないように心がけましょう。

ヒント7

事故率の低下

豚の死亡率を下げることは、病気の蔓延を防ぐことに繋がる大切な要因です。
死体が出ると腐敗臭が出て、その臭いに害獣や害虫が引き寄せられてしまい、農場内への侵入のリスクを増やしてしまいます。
効果的な死亡管理の実施はバイオセキュリティも維持することができ、病気の拡散を防ぐために重要です。